学校番号	１００１

令和５年度　　理　科

教科	理科	科目	化学 （化学－１）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　新編化学（東京書籍）						
副教材等	ニューサポート　改訂　新編化学（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・状態変化など，視覚で変化を確認できるものについては，動画や実験などで事象の観察を行う。
・エネルギーなど，変化を実感しにくい事象については，問題演習を繰り返し概念や法則の理解を目指す。繰り返しを充実させるために，板書はプロジェクターを使用し，速い展開になることもある。よって，予習を求め，確認テストも頻繁に実施する。
・動画を含む実験・観察における考察では，学習内容・化学的な探求能力を実習レポートで求める。
・定期考査は４回実施し，知識問題のみではなく，考察について記述する問題を含む。

2　学習の到達目標

・物質の状態変化，状態間の平衡，溶解平衡および溶液の性質について理解できるとともに，日常生活や社会と関連づけて考察できる。
・化学変化に伴うエネルギーの出入り，反応速度および化学平衡をもとに化学反応に関する概念や法則を理解できるとともに日常生活や社会と関連づけて考察できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・意欲的に学習内容の理解や探求に取り組むとともに，科学的な自然観を身に付けている。	・学習内容について，観察，実験あるいは事実の分析や総合的把握を通じて，実証的，論理的に考察して問題を解決し，科学的に判断することができる。	・観察，実験の技能を習得するとともに，学習内容に関する事物・現象を科学的に探求する方法を身に付け，それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現することができる。	・基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	実験レポート ワークシート ノート	実習レポート ワークシート 確認テスト 定期考査	実習レポート 確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価する。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	状態の変化	第１編 物質の状態と変化 １章 物質の状態と変化 ２章　溶液の性質	○	○	○	○	a:　化学的な事物・事象のうち，物質の状態変化とその平衡について関心や探求心をもち，意欲的にそれらの理解や探求に取り組むとともに，科学的な自然観を身に付けている。 b:　物質の状態変化とその平衡について問題を見いだし，観察，実験あるいは事実の分析や総合的把握を通じて，実証的，論理的に考察して問題を解決し，科学的に判断することができる。 c:　観察,実験の技能を習得するとともに，物質の状態変化とその平衡について科学的に探求する方法を身に付け，それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現することができる。 d:　物質の状態変化とその平衡に関する観察，実験，探求活動などを通して，それらについての基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	実習レポート 確認テスト
5月		溶液の性質	○	○	○	○		
6月		３章　固体の構造	○	○		○		実習レポート 確認テスト 定期考査①
7月～8月	化学反応とエネルギー	第２編　化学反応とエネルギー １章　化学反応と熱・光	○	○	○	○	a:　化学反応と熱・光，電池と電気分解に関する事物・現象に関心をもち，意欲的にそれらを探求するとともに，科学的態度を身に付けている。 b:　化学反応とエネルギーとしての熱・光の出入り及び電池と電気分解に関する事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを通じて，事実を分析的・総合的に捉え，実証的，論理的に考察して問題を解決し，科学的に判断できる。 c:　観察,実験の技能を習得するとともに，化学反応と熱・光，電池と電気分解に関する事物・現象を科学的に探求する方法を身に付け，それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。 d:　観察，実験などを通して，化学反応と熱・光，電池と電気分解に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し，基本的な知識を身に付けている。	実習レポート 確認テスト 定期考査②
9月		２章　電池と電気分解	○	○	○	○		実習レポート 確認テスト

１０月～１１月	化学反応の速さと平衡	第３編　化学反応の速さと平衡 １章 化学反応の速さ	○	○	○	○	a:　化学反応の速さと化学平衡に関する事物・現象に関心をもち，意欲的にそれらを探求するとともに，科学的態度を身に付けている。 b:　化学反応の速さとその要因，化学平衡の原理とその移動に関する事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを通じて，事実を分析的・総合的に捉え，実証的，論理的に考察して問題を解決し，科学的に判断できる。 c:　観察,実験の技能を習得するとともに，化学反応の速さと化学平衡に関する事物・現象を科学的に探求する方法を身に付け，それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。 ｄ：観察，実験などを通して，化学反応の速さと化学平衡に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し，基本的な知識を身に付けている。	実習レポート 確認テスト 定期考査③
１２月		２章 化学平衡	○	○	○	○		実習レポート 確認テスト
１月～２月		３章　電解質水溶液の平衡 電解質水溶液の平衡	○	○	○	○		実習レポート 確認テスト 定期考査④

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。